

# 平成27年度採択案件一覧(継続)

## ■商工会議所関係

No.	事業名	申請団体	事業内容・目標	H27年度の取組と主な成果
	グループ名			
1	統一コンセプトに基づいた商品開発と販路開拓事業	神戸商工会議所	神戸を観光で訪れる女性や神戸が好きな女性をターゲットに、美容と健康をコンセプトにした新たな神戸土産品を開発し、統一ブランド「神戸べっぴんものがたり」として販路開拓を目指す	「美容」「健康」をコンセプトの新商品を20品目開発した。また、県内を中心に15箇所のサービスエリア、パーキングエリアで販売する段階まで進められた。今後販売促進が課題である。  (平成27年度終了事業)
	神戸べっぴんものがたりプロジェクト実行委員会			
2	尼崎おもてなし研究事業	尼崎商工会議所	外国人来訪者向けの体験型観光プランの開発や、異業種の連携によるオールニ崎での「おもてなし」体制の構築に取り組み、外国人を対象とした観光ビジネスを推進する	尼崎えびす神社の巫女さん体験記念撮影プラン等の体験プランを開発した。また、多言語エリアマップを作成する過程で、事業者へのおもてなし研修を開催することで、参加者へ訪日外国人旅行者に対するおもてなしの意識を醸成することができた。
	尼崎おもてなし委員会			
3	西宮地域商品開発事業	西宮商工会議所	デザイナー、情報通信業、小売業者等が連携し、西宮の名所・風景をモチーフとしたダンボールクラフトの置物や絵はがき等を開発し、新しい土産品として販路開拓を目指す	西宮風景箱5種類を新開発し展示会を開催した。
	西宮地域商品開発研究会			
4	異業種連携によるインバウンド観光	西宮観光協会	観光事業者や宿泊業者等が連携して、台湾人を中心とした外国人観光客が市内を周遊するコースをつくり、インバウンド観光を推進する仕組みの構築を目指す	市内事業者が連携したインバウンド観光を推進するため、酒造会社アンテナショップや博物館の協力を得て、西宮の日本酒と酒蔵地帯の魅力を発信するためのパンフレットを作成し、各施設や市内2箇所の観光案内所に設置した。
	西宮観光協会			
5	青年経営サポーター研究会販路開拓事業	伊丹商工会議所	青年専門家(税理士、社会保険労務士、行政書士等)が水平連携し、事業所からの経営相談に対する適切な専門家のマッチングを図り、新たな顧客の獲得を目指す	各専門家の得意分野やプロフィールを明確にした冊子の作成や配布による専門家の販路開拓に向け、2回の勉強会開催によるスキルアップと本事業のコンセンサス形成を図った。
	青年経営サポーター研究会			
6	国包建具新商品開発プロジェクト	加古川商工会議所	地場産業の国包建具を再興するため、「組木」の技術を活かしたオリジナルの行灯やコースター等の開発・販路開拓に取り組み、国包ブランドの構築を目指す	組木、建具技術とアートガラスの融合による新商品を開発するため、国包建具保存会に花台、行灯、コースター等の試作を依頼するところまで漕ぎつけた。また、全国的な展示会を視察し顧客ニーズを調査した。
	国包伝承会			
7	ゴルフ場刈芝再利用研究プロジェクト	三木商工会議所	ゴルフ場から一般産業廃棄物として排出される刈芝について、メタン発酵によるエネルギー利用や堆肥化など、処理・再利用の方法を研究し、実用化を目指す	刈芝の処理技術や再利用の具体化・実用化に向けてゴルフ場実態調査や定例会、勉強会を行い、地元ゴルフ場の現状を把握した。また、視察研修会を実施し、先進研究事例からグループ研究活動の示唆を得た。
	刈芝再利用研究会			
8	「龍野淡口醤油ラーメン」開発プロジェクト	龍野商工会議所	食料品製造業者や畜産業者、飲食料品小売業者等が連携して「龍野淡口醤油」を素材にしたラーメンを開発し、お土産品としての販路開拓を目指す	龍野うすくち醤油ラーメンの開発に必要な知識や食材に関するテーマごとに研究会を3回実施し、参画メンバーの関係性・役割を構築した。また、兵庫県産100%の小麦粉を使用した乾麺の試作に着手し、太麺・細麺の2種類を試作した。
	龍野商工会議所青年部 龍野特産品開発チーム			
9	多元素天然鉱石商品開発事業	赤穂商工会議所	低放射線を含み細胞を活性化させる多元素天然鉱石を合成樹脂に混ぜこんだシートを開発し、健康用品としての商品化及び販路開拓を目指す	名古屋市立大学との共同研究により多元素天然鉱石の人体への安全性・効能を明らかにするため、研究で使用するための試作品の開発、製作を行い、共同研究委託契約を交わした。
	AKEものづくり研究会			
10	域内異業種連携促進事業	豊岡商工会議所	参加企業の連携を促進し、グループ内の相互取引の拡大や新商品・新事業の開発を目指すとともに、地域外の企業との新たな連携を模索する	参画企業の経営者のみならず、現場担当者を含めて、セミナー・見学会等を実施。交流事業全体で約150人参加し、相互に会社情報や所持する技術、経営課題等の情報交換を行った。
	豊岡市工業会			

## ■商工会関係

No.	事業名	申請団体	事業内容・目標	H27年度の取組と主な成果
	グループ名			
11	スマートフォンアプリ“はないち”活用による連携創出事業	芦屋市商工会	阪神地域の若手経営者等が、「顔」が見える情報を発信するアプリを運用し、相互取引や、販売促進等の機会創出を目指す	芦屋市を含め阪神7市1町の商工会議所・商工会青年部連絡協議会が会員企業の事業や場所を容易に検索できるように開発したスマートフォンアプリ“はないち”のバージョンアップを行った。
	阪神地区若手経営者・後継者等			
12	パイロットプロジェクト～かわにし観光力魅力創造・異業種交流事業～	川西市商工会	城跡や銅製錬所跡等の歴史的資源を有する川西市東谷地区において、多様な地域団体の連携のもと、人との繋がりがりや体験を重視した着地型観光の開発を目指す	視察研修や実際のまち歩きを通じ自分たちのまちを自分たちで良くしていこうという連帯感と強い意欲を持つことができ、東谷地区のホームページや町歩きイラストマップ(2種類)を作成し情報発信することができた。
	パイロットプロジェクト委員会			
13	新商品開発販路開発プロジェクト	三田市商工会	ご当地グルメとして地域イベント等で販売してきた「三田★牛ブラック焼きそば」を改良するとともに、新たなコンセプトと味付けによる焼きそばの開発と販売を目指す	先進地区視察を通じ三田市のB級グルメとして新たな視点でのコンセプトを考えることができ、「三田★牛ブラック焼きそば」を中心に地元産品を活用した三田市にマッチした商品開発を進めることになった。一方で試食会を実施し価格設定などで課題がみえた。
	三田市商工会青年部			
15	異業種交流による地域活性化事業	播磨町商工会	地産地消を目指して、食品製造加工業者、飲食業者、漁協等が連携し、地域産品(あなご、たこ、のり、水耕野菜)を活用した新商品開発及び販路開拓に取り組む	町をPRする特産品として播磨町出身のジョセフ・ヒコにちなんだクッキーを試作。また、特産品の統一PRロゴを募集し、開発したクッキー「ヒコのひげ」にロゴマークをつけアンテナショップ「逸品カフェひょうご女組」へ出品するなど市場調査を行った。
	地域産品活用グループ			
16	吉川地域活性化のための観光クラスター研究	吉川町商工会	吉川町を訪れるゴルフ客等を町内の商業施設等に誘客し、町内の事業者や農業者に経済効果をもたらす仕組みの構築を目指す	観光先進地の視察研修において、個社・個店について経営の視点と地域振興の視点が違うという事を学ぶことができ、今後の事業を進める上での土台ができた。
	吉川町商工会 商業活性化対策委員会			
17	地域ブランド商品開発・販路開拓支援事業	姫路市商工会	温泉旅館業と農業、食料品製造業等が連携し、胃腸病に効能がある塩田温泉の鉱泉を利用した食品を開発・販売するとともに、特産品としてPRし、観光客の増加につなげる	新たにグループを募り商品開発等を検討、地域資源の探索、絞り込み等を行い古くから飲用として胃腸病に効能があると言われている塩田温泉の湯を利用したハーブ石鹸を開発するまでに至った。
	姫路市商工会地域ブランド研究会			
18	ブランド創出・PR支援事業	市川町商工会	農業生産者と加工業者、販売者が交流する場を創り、消費者ニーズを踏まえた新商品開発や販路開拓に取り組む	既に商品化している「かしわめしの具」のノウハウを利用した関連商品を開発中。第一段階として「ふりかけ」「茶漬け」をテーマに原材料の“かしわ”を粉末加工したサンプルを作成した。また、野菜の粉末加工サンプルの試作も始めた。
	市川町商工会名物研究会			
19	若手経営者・後継者による地域資源を活用したお土産・特産品の開発	市川町商工会	若手経営者等を中心に、市川町の食材(卵・牛乳等)を使った新たなお土産・特産品を開発し、販路開拓を目指す	勉強会、視察研修の内容を受け地域資源を活用したお土産・特産品を検討し、ひね鳥を使った加工品(チキンウィンナー)を試作した。
	市川町商工会 青年部地域活性化委員会			
20	地元産の素材を使った新商品開発と既存特産品の販路開拓	たつの市商工会	特産品「牡蠣しょうゆ」の量産体制を確保し、販路開拓に取り組むとともに、地元産の素材を使った新商品の開発・販売を目指す	既存特産品「牡蠣しょうゆ」の販路開拓に必要なPP用のチラシ・ポスターの作成に取り組んだ。新商品の開発では、室津産の牡蠣を活用した①牡蠣そうめん②かきふくめ煮オリーブオイル漬③牡蠣缶詰の3件の試作を行った結果、②かきふくめ煮オリーブオイル漬③牡蠣缶詰の商品化に取り組んでいる。
	たつの市商工会特産品開発研究会			

## ■商工会関係

No.	事業名	申請団体	事業内容・目標	H27年度の取組と主な成果
	グループ名			
21	「佐用ひまわり地鶏」普及事業	佐用町商工会	飲食店や農家、高等学校が連携して開発した特産品「佐用ひまわり地鶏」の関連商品（地鶏鍋、地鶏丼等）について、取扱店舗の募集や普及活動を行い、販路開拓を目指す	「特産品開発の事例」の講演会を開催、グループ内で特産品開発に関わる意識の高揚や意思の統一ができた。 (平成27年度終了事業)
	食文化研究会			
22	異業種間連携を構築しワクワクドキドキする商品を開発する事業	豊岡市商工会	食品製造業者や飲食業、宿泊業等が連携し、地域産品を活用したスイーツや土産物等の新商品を開発するとともに、フェイスブックでの情報発信等による販路拡大を目指す	地域の現況分析や地域資源の整理をし、意見交換を重ねた結果、新商品ではなく地域資源を活かした体験プランの開発、既存商品の見直しによる新しい価値を見出した商品開発に取り組むことになった。
	豊岡市商工会竹野支部			
23	産業用ベルト及びその周辺部品の製造自動化プロジェクト	香美町商工会	産業用ベルト・周辺部品の製造工程において、現在は人力で行っている「バリ取り」作業の自動化に向けた研究を行うとともに、研究成果の技術を活かして医療分野におけるベルト・周辺部品の受注を目指す	少子高齢化による人材不足と国内空洞化が進む中、自動倉庫や産業用ロボットに用いられる産業用ベルト及びその周辺部品の「バリ取り」の自動化を目指し、グループ企業が連携し機器の改善・試作に取り組んだ。
	YSMBグループ			
24	モノづくり力発信事業	新温泉町商工会	地場産業や地域資源活用商品の町内外へのPR及び販路拡大のため、産業展の開催やホームページ等での情報発信に取り組む	町内ものづくり事業所を町民に向けPRするため、パンフレットを作成。
	新温泉町商工会 工業部会			
25	新温泉町「交流人」対策事業	新温泉町商工会	消費者から見た新温泉町の地域資源に対する認知度やイメージ等を把握した上で、地域資源を活用した効果的な観光プロモーション戦略を立案し、旅行会社等への提案、販売促進を行う	選定した地域資源に対する旅行業者と共同の調査により、セコがにや温泉への興味が強い結果が出た。その結果を踏まえ、夫婦がに(松葉がにとセコがに)と外湯めぐりをセットにした観光プランを作成したところ、このプランによる宿泊者が220名と成果を出せた。また、今後に向け観光資源PRIに必要な素材を写真で整理することも行った。
	新温泉町商工会 観光サービス部会			
26	淡路市異業種交流事業	淡路市商工会	異業種の企業による交流や意見交換を通して、自社の経営課題とその対応方法への新たな認識を得るとともに、参加企業同士の連携による新サービスの提供等を目指す	野球関連のコラボレーション商品開発に取り組み、「選手サイン入りタイル」の試作品を開発。販売価格、ターゲット層、販売法などを検討していく。また卒部商品の開発にも取り組む。
	淡路市異業種交流会			
27	淡路島の有機肥料から始める循環型農業の商品開発と情報発信事業	淡路市商工会	循環型農業をテーマに、有機肥料を生産する畜産・農業関係者と、それを使用する農家・流通関係者やデザイナー等が連携して、発酵鶏糞及び菜種油粕の販路開拓とそれに伴う広報ツールの製作、他の有機肥料を使った商品開発、運営組織の体制の確立をする	東京などの都市の住民に循環型農業をPRするため、現在島内で発売している「島の土」の首都圏等での販路開拓を目指して、試験販売を東京で行った。ニーズもあり神戸のガーデニングショップからの卸の問い合わせに対する対応を検討する段階になっている。
	鋤ラボ			
28	淡路島食材・素材を用いた燻製商品(チップ等)の開発事業	淡路島燻製部	農家や水産加工業者、造営業者等とデザイナーとの連携により、島食材の食し方のみならず、島の素材(伐採した木、玉葱の皮、間引いた柑橘類、廃棄する野菜の茎)を活用し燻製チップや燻製鍋を開発する。それに伴い、広報ツールの作成、運営組織の体制を確立し、販路開拓を行う。	島オリジナルの燻製チップの原料として、山桜の提供者が見つかり、開発が大きく進展した。関連商品として地場産業のいぶし瓦の手法を用いて卓上にそのまま出せる燻製鍋の商品化に向け試作に着手した。
	淡路島燻製部			

## ■兵庫工業会関係

No.	事業名	申請団体	事業内容・目標	H27年度の取組と主な成果		
	グループ名					
29	研究者と企業現場の交流による新たなテーマ発掘事業	兵庫工業会	大学の研究者が企業の現場を訪問し、企業の技術者と交流することを通じて、企業側の現場ニーズを探り、連携による新分野進出等を目指す。	・8/31夏のビッグイベント分科会として、パネルディスカッションを開催 ・MEMS水素計の開発(株)山本電機製作所—県立大工学部)、ナノ水の加工における活用技術(株)兵庫精密工業所—県立大工学部)、“Carbon Nano-Tubeの形態制御とそのデバイス応用”の研究協力(県立大工学部—第一熱研(株)) 参加企業の半数が、研究業とのつながりを持ってたうえ、事業(連絡)を開始した。		
	兵庫工業会 地域別理事会					
30	企業法務担当者間水平連携検討事業				ものづくり企業に特有の法務上の課題(契約時の注意点、注文主・下請企業倒産時の対応等)について、参加企業が相互の経験や知識を活かして連携し、企業法務力の向上を目指す	参加企業の法務力向上により、企業防衛、信用力向上に期待できる。特に第1回目のコーディネーター(外資系企業事業所長経験者)による弁護士とのディスカッションについては、グローバル化社会における自社の立ち位置(良い点、不十分な点)が認識でき、スキルアップにつながった。
	企業法務研究会					
31	異業種交流による労働災害の「未然防止活動」向上事業	製造現場における作業安全や環境保全について、現場での事例研究や参加企業の相互研鑽により課題解決を図り、安全業務の高度化と経営効率の向上を目指す	安全意識向上・労働災害撲滅・メンタルヘルス向上のため大企業が実施している危険体験講習及びディスカッションに参加。			
	現場安全研究会					
32	品質管理担当者間水平連携検討事業	グローバル化を勝ち抜くための魅力ある品質づくりを目指し、現場訪問や討議等を実施し、参加企業が連携して品質管理の向上に取り組む	参加各社の今後の品質保証体制向上により、生産性向上とともに商品、サービスの向上に取り組むため、現場訪問や討議等を実施し、各社の立ち位置(良い点、不十分な点)が認識できた。			
	品質管理研究会					

## ■兵庫県工業技術振興協議会関係

No.	事業名	申請団体	事業内容・目標	H27年度の取組と主な成果		
	グループ名					
33	包装技術による6次産業化支援アイデア創出事業	兵庫県工業技術振興協議会	農水産物の鮮度維持や輸送中の損傷を軽減する包装技術について、包装資材製造業者やデザイナー、農業・漁業関係者等が連携して研究し、新たな包装資材等の商品化を目指す	農林水産関係機関と連携しイチジク、花卉の鮮度維持輸送のこれまでの実施例や課題、解決策を調査した。またグループメンバー間で資材を出し合い、輸送用梱包の試作を行った。		
	包装による6次化支援チーム					
34	小ロット対応技術による商品多角化展開事業				播州織のファッション産業向け素材等商品多角化を目指し、小ロット生産対応技術を活用した新たな素材開発と販路開拓を行う	生産が減少している播州織について、従来のファッション産業向け素材のみならず産業資材への展開など、新たな可能性を検討した。現段階では成果は出ていないが、従来と異なる素材を播州織に応用するアイデアが固まってきた。
	播州織商品多角化検討グループ					
35	ペット用ヘルスセンサと健康管理アプリの開発	無線生体センサを犬猫の首輪装着用に小型化し、計測データをスマートフォン等に送信してペットの健康管理ができる装置(首輪)及びアプリを開発する	電子部品・電子回路製造業者やドッグフード業者、なめし皮業者が連携しペット用小型生体センサの設計・試作の検討や実験を行った、首輪型センサの試作を行うとともに、試作品を中型犬に取り付け、体調データの収集実験を行った。(27年度で補助終了)			
	1兆個センサ時代を見据えたビッグデータ応用研究会					
36	鹿油と種類製造副産物を使用した化粧品開発	鹿肉料理店と酒造会社が連携し、鹿油(鹿由来の油)と酒類製造副産物を原材料とした新たな化粧品の開発を目指す	飲食業から排出される鹿油と、酒造業の酒類製造副産物を使用した化粧品開発を目指している。製品を検討する中で、農業、美容業、大学教員等広い分野からグループへの参画者が増加した。本年度は開発する化粧品の原料と方向性が決定したので、28年度試作品製造を目指す。			
	異業種間の資源利用による新規化粧品開発グループ					